

## 【A. 取り組みの全体像】

### 1.自治体の概要

	<b>自治体名</b>	須坂市	<b>担当部局名</b>	総務部 政策推進課 健康福祉部 福祉課	<b>人口</b>	49,776 (人) <2023.1/ 住民基本台帳登録人口>
	<b>自治体内連携</b>	<b>市内連携部局</b>	総務部（総務課、政策推進課）、健康福祉部（福祉課、高齢者福祉課、健康づくり課）、社会共創部（人権同和・男女共同参画課）、産業振興部（産業連携開発課）、教育委員会（学校教育課、子ども課）			
	<b>市内連携内容</b> ※会議体、情報共有	「須坂市地域福祉計画策定推進作業班会議」の中で、「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」に加えるべき外部団体等に関する意見交換や、孤独・孤立対策の方針についての議論を実施				

### 2.形成をめざす地方版連携PFの姿

#### 従前の取り組み

※重層の取り組み、外部組織連携、地域コミュニティ形成等

- 地域における人々のつながり・社会関係資本の継承に向けた取り組みを実施。その他、妊娠期から切れ目のない支援を行うことで、産後の母親のメンタルヘルスを向上させ、産後うつを防止する取り組みである、母子健康システムの「須坂モデル」等も構築。また個々の分野では、「自殺予防対策連絡会議」や「虐待被害者等支援対策連絡協議会」等の会議体を設置している。

調査	・ 日本大学法学部と協力し、「多世代が安心して暮らせる地域づくりに向けた調査」を2008年、2018年に実施。また2020年には「地域福祉に関する市民意識調査」を実施。
構想・方針	・ 孤独・孤立に特化した調査を実施し、PFにて孤独・孤立対策となる取り組みや支援の対象等について協議予定。
体制	・ 総務部 政策推進課、健康福祉部 福祉課が中心となり、関連部局等と連携。
実施	・ 「こころやからだに関する相談」や「引きこもりに関する相談」等の窓口を設置するなど、各分野にて市や社協等が様々な取組を実施。
評価・検証等	・ 前掲の「多世代が安心して暮らせる地域づくりに向けた調査」等にて経年変化を把握。

#### 実現したい状態

※構築する仕組み／支援対象の住民を取り巻く環境

- 市民の孤独・孤立に関する状態が把握されており、それに基づいて、孤独・孤立に陥りやすい属性や、孤独・孤立に陥っている人に対する支援等を検討できる
- 市内の孤独・孤立に関する関係者や取り組み、相談窓口等の情報が整理され、潜在層への情報提供のあり方や今後の支援体制検討のための課題や資源等が整理されている

### 3.地方版連携PFにおける連携体制

<b>連携先支援団体名</b>	須坂市社会福祉協議会、須坂市生活就労支援センター、株式会社ドリームシード、須高地域総合支援センター、須坂市民生児童委員協議会ほか		
選出・打診時の工夫	地域福祉計画策定推進作業班会議メンバーから連携先についての意見を募集	協議体 (既設/新設)	新設
<b>支援団体との連携内容</b>	孤独・孤立に関する情報共有・意見交換等。次年度以降も継続して情報共有、支援体制のあり方等について検討を行う。なお、今後、孤独・孤立対策を進める上で連携が必要な団体があれば随時追加していく。		

### 4.PF連携による価値や工夫<sub>考え方</sub>

- 地域福祉計画策定推進作業班会議メンバーに教育委員会各課や社会福祉協議会も含まれており、孤独・孤立に関する問題意識も有していると考えられるため、まずは当該会議メンバーを母体にPFを組成。関係者の議論も踏まえ、さらなる外部団体等も追加。
- まずは市内のリソースや現状を把握するという意図のもと、全国調査の調査票をベースに、市内で独自調査を実施。市の相談窓口の認知度等も独自に設問に追加するとともに、並行して市内のリソースも一覧化することで市の実情を整理。
- 現状把握・方針策定の段階から外部団体・有識者を交えてPFにて議論。

## 【B.連携PFイメージ】

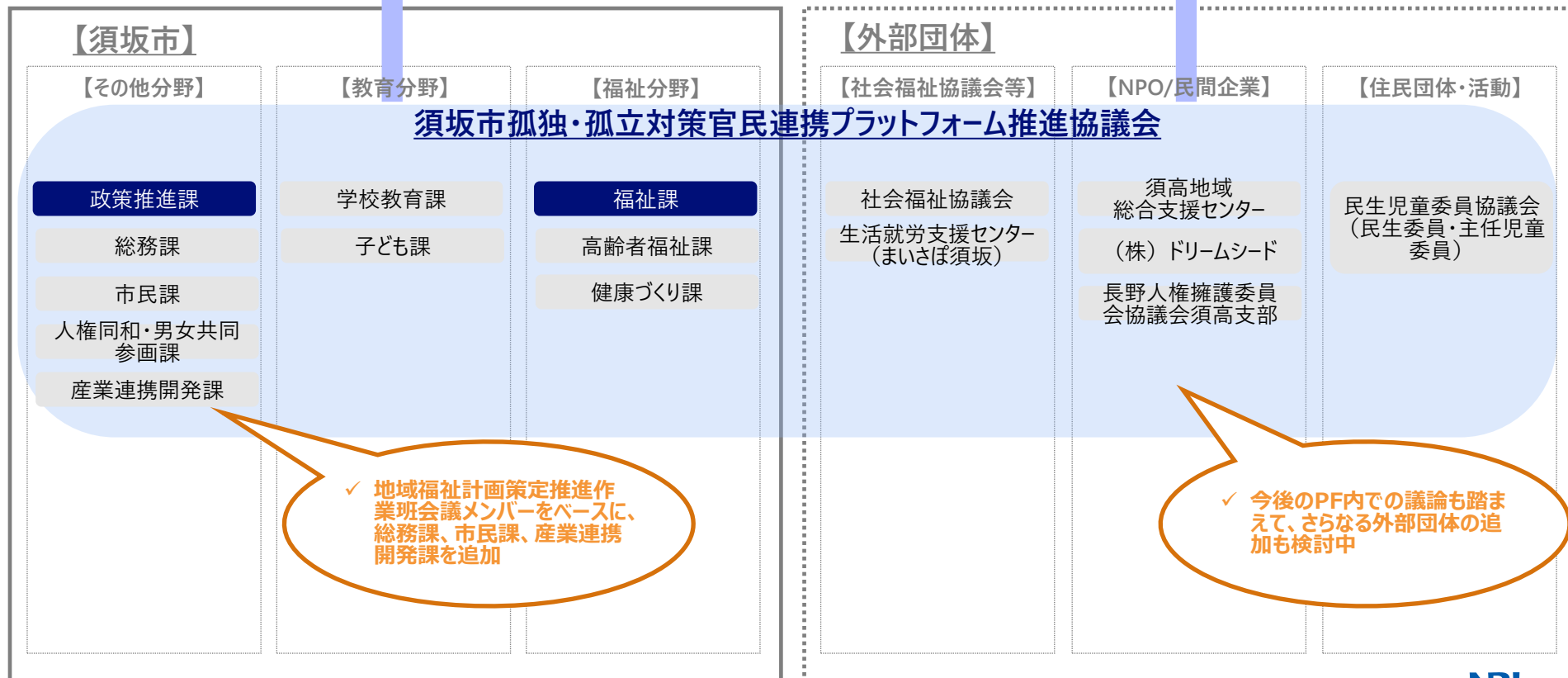


### 現状整理・個別分野における取組

- ✓ 市民アンケート調査：人々のつながりに関するアンケート調査（政策推進課）
- ✓ マップ作成：市内の関連組織や窓口等のリソースの整理（政策推進課）
- ✓ その他個別施策：自殺対策や健康相談等（健康福祉部各課）

### 各地域・各分野における個別支援や自主事業等

- ✓ ふれあいサロン：地域の公会堂などで開催されている交流の場（社協）
- ✓ いきいき外出事業：介護が必要な高齢者や重度身体障がい者が、介護者やボランティアと外出する事業（社協）
- ✓ インフォーマルサービス情報：自立支援に向けたケアマネジメントのための情報提供（社協）



## 2. 各自治体における取組概要 | 須坂市 (3 / 4)

### 【C.試行的事業一覧】

#### 6. 本年度に取り組む試行的事業の概要

試行的事業の  
ポイント・工夫

- 市や市社会福祉協議会等が行ってきた、地域のつながりをつくる取組みのノウハウを孤独・孤立対策に援用することも検討
- 市の独自アンケート調査を実施し、その結果をベースに具体的な孤独・孤立対策を検討
- 現状把握・方針策定の過程から外部団体・有識者を交えてPFにて議論

事業名称	事業内容	目的／期待効果・KPI	実施時期	発注先 (予算)
1 須坂市版孤独・孤立実態調査 (人々のつながりに関するアンケート調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民 (満16歳以上) を対象とした実態調査</li> <li>標本抽出によるアンケート調査</li> <li>アンケート調査の母数は2,000件で、業務委託先を通じて回収</li> <li>アンケートはオンライン回答併用方式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の福祉分野で支援が行き届いていない点、現行の支援体系では対応不十分な点の検討。</li> <li>上記課題をもとに、今後の孤独・孤立対策として有効な方向性や支援手法を検討。</li> <li>分析結果を民間団体や支援関係者に共有し、今後の対策の方向性を検討。</li> </ul> <p>成果検証項目 ▶ 有効回答数799件 (有効回収率40.0%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 11月-12月：設問設計</li> <li>✓ 1月：アンケート期間</li> <li>✓ 2月：集計、分析</li> </ul>	特定非営利活動法人SCOP (397万円)
2 協議会開催による市課題の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回程度の協議会開催</li> <li>構成は既存の協議会 (地域福祉計画策定推進作業班会議メンバー) をベースに検討</li> <li>1回目 (12月) では協議会の目的の共有・実態調査の概要 (調査項目等) の報告等を実施</li> <li>2回目 (2月) では調査結果の共有・意見交換を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の孤独・孤立対策の概要や調査を通して把握した須坂市における課題等の共有。</li> <li>相談支援マップ等の検討。</li> <li>次年度に向けた市独自の孤独・孤立対策事業の方針検討。</li> </ul> <p>成果検証項目 ▶ 前身を含め協議会を2回開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 12月：1回目開催</li> <li>✓ 2月：2回目開催</li> </ul>	同上 (上記内数)
3 孤独・孤立対策相談支援マップ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「孤独・孤立対策」の概要が分かる支援マップを作成する。</li> <li>行政や民間の支援機関 (支援体制) のマップ化に加え、孤独孤立の要因や課題を一覧化できるようなマップをイメージ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内や庁外のリソースの把握・可視化。</li> <li>将来的には、市民への孤独・孤立対策事業の周知への活用も検討。</li> </ul> <p>成果検証項目 ▶ 作成したマップについて協議会にて共有・検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 1月：マップの素案作成</li> <li>✓ 2月：マップの検討・作成</li> <li>✓ 4月以降：公表、配布等</li> </ul>	同上 (上記内数)
4 孤独・孤立対策や相談体制等の市民周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果等も活用し、住民周知を行う。</li> <li>要支援者のみならず、市民にとって最も身近な相談者への周知も重視。</li> <li>具体的な方法としては、定例記者会見にて報道機関向けの発表を行う、その他広報誌や市HP等にて市民向けの周知を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が孤独・孤立対策に取り組む、相談しやすい体制づくりを目指していることの周知。</li> <li>須坂市の特色である「地域のつながり」の強さを生かし、孤独・孤立対策の周知浸透を図る。</li> </ul> <p>成果検証項目 ▶ 報道発表内容の誌面掲載</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2月：報道発表</li> <li>✓ 3月以降：HPや広報誌等への掲載を予定 (孤独・孤立対策事業の概要やアンケート調査結果などを3月上旬にHPに掲載)</li> </ul>	—

#### 7. 次年度以降に向けた事業等の案

※PDCAサイクルに照らして次年度以降に取り組んでいく事業イメージ (あれば) を例挙

- 次年度以降も継続的に協議会を開催し、調査結果や課題整理マップを活用し、市独自の孤独・孤立対策 (アプローチ層の検討や周知方法など) に関する議論を深める。

#### 8. 孤独・孤立対策を公表した際の反響

- 2月21日に報道発表を実施。次年度当初予算概要とともに、市が重点的に取り組む事業として記事掲載。

## 2. 各自治体における取組概要 | 須坂市 (4 / 4)

### [D.留意点]

